

2025 年 7 月 25 日
公益財団法人 日本英語検定協会

英検協会『統合報告書 2025』(p.24)

【コラム第 4 弾】

「2024 年度の取り組み ～変化を見据えた対応～」

英検®S-CBT®海外展開

—本報告書の主なトピックを毎週金曜日に順次ご紹介いたします—

先般、7 月 1 日に英検協会として初めて「統合報告書 2025」を公開いたしました※1。
以降、毎週金曜日に本報告書の主なトピックをコラム形式でご紹介しております。今回は第 4 弾として、
報告書 p.24 に掲載した「2024 年度における英検 S-CBT 海外展開」についてご紹介いたします。これ
を機会に、過去コラム第 1 弾から第 3 弾もぜひご覧ください。

[【コラム第 1 弾】統合報告書 2025 | 他グローバル試験に引けを取らない英検（受験者数・検定料）](#)

(2025 年 7 月 4 日付)

[【コラム第 2 弾】統合報告書 2025 | 2024 年度の取り組み（問題制作・採点業務改革）](#)

(2025 年 7 月 11 日付)

[【コラム第 3 弾】統合報告書 2025 | 2024 年度の取り組み（デジタルサービス推進）](#)

(2025 年 7 月 18 日付)

※1 英検協会初、10 年の成果と DX 戦略をまとめた『統合報告書 2025』公開 (2025 年 7 月 1 日付)

なお、来週もまた新たなトピックをご紹介します。



(コラム)

英検 S-CBT 海外展開を本格始動

ー 2024 年度から NY・LA・ロンドン開設、2026 年度以降は欧州・アジアへ試験会場拡大

コラムのまとめ

- ・ 海外在住受験者から『試験会場拡大と実施回数増加を求む』との強い要望が多数
- ・ 2024 年度から英検 S-CBT 海外展開開始、まずは本会場の NY・LA・ロンドンで実現へ
- ・ 2026 年度以降、欧州各都市やアジアへ拡大、世界規模で受験機会を順次拡充予定

■ 海外在住の英語学習者の皆さまからのご要望

現在、英検（従来型）の海外本会場は、ニューヨーク、ロサンゼルス、ホノルル、ロンドンの 4 都市のみです。一方、海外にお住まいの英語学習者の皆さまからは、

- ・試験会場を増やしてほしい
- ・実施回数を増やしてほしい

というご要望が多数、英検協会に寄せられています。

■ 英検 S-CBT の特性を活かした対応（従来型より実施回数が多い）

これらのご要望にお応えするため、英検協会では 2024 年度から英検 S-CBT の海外展開を開始しました。まずは、従来型で本会場のあるホノルルを除く 3 都市（ニューヨーク・ロサンゼルス・ロンドン）で導入し、以降、実施回数や収容人数を順次拡大していく予定です。

■ 今後の展望

さらに 2026 年には、欧州（ロンドン以外）でも開催できるよう準備をすすめております。また、アジアの各都市にも順次拡大し、受験機会を世界規模で広げていく予定です。

※「英検」、「S-CBT」およびそのロゴは、公益財団法人 日本英語検定協会の登録商標または商標です。

本件に関するお問い合わせ先

公益財団法人 日本英語検定協会 広報担当 (kouhou21@eiken.or.jp)